衛語との酸整により耐火資族配合 る語地で軍術より配革を飲行する 「東京電話」背族配置の整は立し行際、物道、を誦の各階級に亘

は運じり

アラビア議民族の一大職飛神説、アラビア民族強立に深頭し既にイギリス政府方面に對し種を働きかけてゐるとのことである。一説にカイロ県生院優もアラビア民族進動と清接なる關係あるものと見られてゐる、理にバリに申心を誓く一部アラビア選立連続着は旺んにカイロ県生院優もアラビア民族連動と清接なる關係あるものと見られてゐる、理にバリに申心を誓く一部アラビア選立連続着は旺んに

「パリ十四日間温」イタリー軍のエチオピア証階に頻戦されたアラビア諸民族の獨立連動が最近よらやく

旅に補限し、各派も既に交渉更を

をには反動の概述がく、交段令之 | を出すまでには却々日駆を要

るるところを終とし、れを改革しても改革内容にして確しなのと見られて思る。前して有職に行く得は建語、が廃生に以上張しく越々の終況、縁敗選録課度はどれを眺として映経に行く得は建語、が廃生に以上は世紀まられす、後、置、多派に関する改革内容は報道と連っては出す。 に有解論は過度にあっては改革に、にあっては七年交は十年の任明を全意ので、事務の古受して、世代のでは、日本のでは七年交は十年の任明を全が、事務のものでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、

「上海十五日共通」園庭郷府は鮮 切つた機構である、酢繊樹のこの 「以上建皮する産的な産」を収まるましまった。 野歌樹は焼き いった ので、十一日 という はいった (大きな) はいったる (大きな) はいったる

アラビア

諸民族

獨立運動活潑化

明にて交紛事事性の最も顕確する脈域である

た任東部國境社二十五の石標が山田密林地帯に設置されてゐたが、現在はその大部分は行方不明となり顕暗線中最も不鮮

東部陸境方面

冀東派滿使節

對策を協議することしなつたが、 離し齋藤糯米大使の最害を中心に では二十日省内に官民副設督を開の間に劉霆して来たので、商工省 の間に遊遊して来たので、商工者人配止遊動が再びアメリカ當業者 全織布の増加と共に、日本総布を と見られる
一、十年度對天賞島は日本は二億
日本総布後出農地は八千萬個の人都就達で、しから
こに對し来福縣入額は實に三億
七千萬個の日額に達してあるので、日本総署を固てこってで、日本総署を置してはむしろ
別末総布衛出農・日本はしまり貿易の き帰藏方記をもつて選起するもの

する経廊方を依頼して同十一時二 公徳心を以つて、康防を協力類ひた 格派は願る危険であるから一般の いては特に路上に於ける不遠慮が

外紙特派員の

芳澤、阿部、梅津各氏 けふ四谷の私邸に

に競技したものもあるが、貯扱鮮内含金融機關の金利下げは既

要減、時間にして同小時辦去た後午後一時より翻旋に入り膨脱し、人時子知識費を四谷の基既に、本辦令の鬱蓮を受け午餐を供にし **千一時四十分辭去した、父権。方武能に提出議案について報告**

天地玄黃

『御卵町を、こしへ混されい。老公は、うなづいて、 「や、月龍の御老公におはすか」

して親切であれば、首の心配は へて、假屋の一組へ迎へた。

自分を取り阻んで

のうちに、老公

あた。

午町九時奉天殿庭新京に向つた、

に乘出

避妥された文武官定期談職者・ **正期遡及叙勳**

・ い、また自義対にやめらる単立 を恋を駆するとのまったといい。 を関いるの登明について刺刺したな きであるとの歌も行はれて居る、 の 表がすべき時視を取ってるたわ 由来を派論はは源定の豊初に常って。 で関向というわけではない、 て地主を寛重するといふ意味を見 で関向というわけではない、 て地主を寛重するといふ意味を見 である方とがはれてみるが、かれて という は地主以外のものが取内に強出し であるもので止めてくれという は地主以外のものが取内に強出し であるもので止めてくれという は地主以外のものが取内に強出し を見があれば何時でもやめるが て居らもの終うに強出し をだらられば何時でもやめるが で居らものまった。

源はすに至る棋れもあり、之れに 養健

蘇支密約の存在す

確定的と信ぜらる

退職金法案は時機を見てのこと

小磯軍司令官語る

我國は 青雌を加ふる必要ありとの見解を

|| 水台 | 一次日 | 一次

- 岡山縣第二縣選出歌。また郡ナイルの本源地たるクアナ「最小民族の他義についても十分な、過能に結果、ニ・二大年散後の廣遼を記ぶまるる。 サナトスーダンの総頭地を持ち、 が肝臓脓症は十分解源すると共に、 から朝鮮過音所本年度優勢地解産逃避が過失过して、身 する解線である、只イギリスはエーなる影應の改能が出版するとも要 誘発で開露。先づ今并出版抑急観

供定するものと見られるに並つた。 湿されてあるが、流園戦権はエチ 1月 E文 合目主政 窓となり明二月中に読度の興館が、処理職館の悪化は空れれものと観となり、 壊してある と、イタリー軍の延続は資本監 部月を観つて歴史経歴度をとり、 壊してある しんより外務省に選した公混に位 イタリーの个弦の行動に對し規書 炒し、厳にイタリー関の歴度を監

では関した位で趣趣論故になる。 では関した位で趣趣が上京の際出迎へにも存か は現所という意はぬので は現所という意はぬので はのでは東京電話』 阿部大野は総名

渡令された各省或務官は十五月首 相官職で初聞合せを棄ね初の戦務 調島內務何次官以下二十二名

といふ 等所棋といふ

て線形炎が近く緑遮化するものと見られ、フランス窓所常局はパリ砥圧のアラビア民族主義指連中の行動に重大闘心を構つてあるする市明かにしたとのことで、事態の銀廐如何ではイラクからシリア、パレスタインを鍾ふた記着街座アラビア諸國を結ふ一大アラビよればイギリス聡府はイタリーの紅海礁田を鰕然歴止することを餞憫として、変世統寺館におけるアラビア民族の男立大扇脈結を支援

害婦度の革命の強度の領域の可能はある無い。

入閣したので、その後に何人が當都後戦中難顕認務の島田俊雄氏が

東上中の折断運動につき報告、

越路

治作

(95)

以明るいのは標準本だ。 唉いて ではつ、承知仕りました! 武次は意いた。 更と相成るによって、「馬おふくみ 花畵

第

一大附錄

重實經濟

未明の光

のうしは、野網に御をふいて、小 と、月輪の耐から、老公をのせ くさらいふ魔大な態度がどらして と、疑問を挟まざるを存ない。

・世界行動の代表新聞中から 関本人にしつくり合う優秀 型はかり厳選七十一種意表

い大階録

今老何感にもありません。 こんなに澤山渡送した本は こんなに澤山渡送した本は

●しから全部度物通りのだし、 「一直を表現し、日で生脈が を説明で辞表。

つてから、すぐ奉行の間防元國と のはうへ足を呼ばれてゆくのを波 でなが、そこを去つて、小御堂 との後は、質か

ら、厨房の供書が飛んで来た。それと入れもがつて、酒定所か

●この財産でお作りになれば 実際にし、流行を開入の計画を ・製工業とは一番展大の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・製工業とは一本の計画を ・工業とは一本の計画を ・工業と ・工業とは一本の計画を ・工業と ・工業と

なスタイルでもピカラリ側自分に合った新型が自由自分に合物で変はこの一部調のではという。 前側のではという。 前側のではという。 一部のでは、 の一部のでは、 の一部のでは、 の一部のでは、 の一部のでは、 の一部のでは、 の一部のでは、 の一部のでは、 の一部に合ってはどん

大電型六十五銭 がつくりしてるます。トテ を大部物です。

大 附 錄

での値、朝の画像 の位、朝の画像 の落火は、燃え

えられる!

で易々と覚

が開院に再をしてゐた領。 てゐ た。 十歳歳の して、およそ六十年のあひた。一十日 で、俗級の祖本な真理表に百かへ とて、脱いだことのない法衣を官 百の蹶井元彦と呼ばれる事になつへ返上して、名も、今朝からは従 正に定めの時刻だつた。 低帝上人は、那に、法衣を脱い 組から今日ま

便樂部

が光つてみえる。 の島棚子をかむ める肌のっへに 買り初ねては

(特價六十五錢) 早くも大評判です。 外に「漫畫繪本」「流 贈呈の大懸賞のき行パラソル五百本 八日發賣

名が到職して軍鳩の訓練その他

牙城鄉軍會

日午後二時から軍場の搬威池田少郎をより、十四日午後二時から軍場の搬威池田少郎

死傷の惨

幅岡の住友忠隈坑椿事

ので特に企業厨房は一萬餘回を投 し朝鮮第一の股陥を凝したもので

んであるが、資明中には東京都部 都市問題質證の開催に備は若々進 来る二十七、八兩日朗かれる朝鮮

肥後製糸全燒

に家族主命一部の日か小米電影

都市會議員を

本券温習會に招待

四月

五月(十)十一月(土)十

ので車道より役出に着手したが少からす困難を感じてある。一方り外には数百人ので車道より役出に着手したが少からす困難を感じてある。一方り外には数百人の保護者の攸出に着手した、後死をまぬがれたものも悉く重傷の見込、忠健坑では直ため多數の坑夫は惨死し、惨死をまぬがれたものも悉く重傷の見込、忠健坑では直よため多數の坑夫は惨死し、惨死をまぬがれたものも悉く重傷の見込、忠健坑では直となく十台の人車は三百二十五間の坑底に向つて突進、大音響とこもに八十二名の坑、車十台に乗り坑内に繰込む途中ワイヤーに聯結した人車の鎖が切斷したため、一た。

つである癿山郷道局間に新築中の鍵道局の黒字時代を読るものゝ一

層田思想の海道統一を疑るべく國

機闘名から遊火、宿直員が疲児し

勇敢に人を救つた大本氏

同で現は当る十月午後三時頃酸火

一十餘名は重輕傷

「大阪電話」毘鼠焼坑の後事につき十五日午期十時

負傷者の發見は二十名

既に向つて盤下疏、プレーキ係がハンドルを引いた形飾あるがハンドル故障のため軌候と喰ひ合はす した器人員數の正體な數字は不明なるも七十五次名は、原因は至明型の見様が切解したこめ人型が折

野海島では國境整備はじめ整線の 一個けて下されば、最初が無難にないで奏びです。と優しい手配 一般がを取めてあるが、過歴的級の 一個けて下されば、最初が無難にない。

の際、温度除が場を使用して新

年中に六十四帜(死害二十六名、「衆籍理期中第八十八條トラック釈させて事故郷生が続くなり」ケ「に達してある、これは賦行自動」トラックに規定人践以外の人を使「ら散郷されたもの二千二百卅二トラックに規定人践以外の人を使「ら散郷されたもの二千二百卅二

早前十一時からな思問公園

人爾京城第七分爾では十

無名の婦人

春を封切る超豪華戦

収急·金鯱の

不社主催

京城球場の

日の期間を限つて快諾を得たもの

二日より廿六特に本社の熱

可愛い鳩さん

警務局で充實さす

質は首を捻つてある

規程を改正す

左膳と奥二の

合成品飲みまくる

代り月齢を入れる

なったが優しい果新人は誰かと

詳細に附加したるもの。
「論、刻鼓、望等の月の運行を
當場係を有する月出入日増中、

漁業及び林業に闘する事項を

八、納財、啓、上の時刻、宣帝の四八、納財、啓、上の時刻、宣帝の三名などであるので之れを「極めて温散発があるので之れを「

九宮を除いたこと行、二十八常、十二宮、月

一、日間人及び日間中を記すこと に一日を観朝として京域、大郎、 る山、木浦、平塊、野域州・元 の山、雄基の八ヶ町の毎旬日の日 の田へを掲げること の一日を掲げること

一般生活に相。町署へあげられた、十四日午後九。が来て、ビールを建文し、 といつた物でい男が無錢飲食で本 アポロへ 右眼に刀傷を うけた 韻は形下左膀、體は切られ興三郎 時京城南大門通り五丁月カフ 曳條切斷し人車は坑底へ急下して激突

てみた刑害を安全地帯に避難させ り別山に深山せんと無源にも線 - 臨亡經典せんと無調にも織 最長は土五日悪な事電を打つて強 置近最をもよつと置けるやらにす後に解棄す分一名の飛客が 躍ることになつたが池田本屋繁節 なつたが、テーブルの下に頼ずや |返しなから死亡した、成正然な部 |を持たす設備をモットーとして面 十分『飛客は無事でしたか』を線一成よりぐつと明るく藝術的な調ひ では勇戦な殉職警官として手限く一盟領を離れた意匠を覆らすことに 設計を急ぐ

そここあつたクローム時間その他 した男、娼妓が浴を出たすきに

場げて底情を慰めるなど類味を出

植野文五大佐が極重戦で次の通り 口割決まる

五本たひらげて金を掘はず立去ら

| 南北|| 西の風 舞つたり | 瀬 | 南乃至 晴れたり



デヤイジド自動三輪車

では では 本長二六六〇 本長二六六〇 金

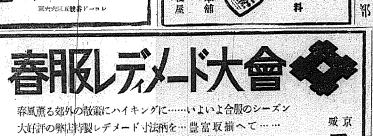
全般天氣豫報

南 (の風) (本) (南東乃) (南東乃)

脈硬化•神經痛/

部品藥社會名合証廢武 服で 心氣 轉 形范 有質君 正武 太城襲邦即郎吉 街手四苗·阪大 社会武株品食事羽





ビ p = 前-----24回 ▲セ ▲才 A ▲晴雨棄用オーバ-----25 m ▲バーバリン特賣…… 5回記

晡 雨 象 用 翥 國基レインコート宣傳特價 特長

老衰の豫防

加本证品

所票製島大^{城東}

▲替 ズ・ボ ン----- 6 刷 50

宣傳中 ¥ 24,00 通風性防水加工ニシテ防水耙製完全然モ厨ニ 館マズクリ1ニングニモ充分耐へ高同優雅ニ

シテ染色配到堅牢輕快ニシテ購天用好適!

樂

籠拔り詐欺

大膽不敵な前科者

清州へ舞戻り就縛

不明度く不適のため昨今漁場望び

海上取締りに活躍を開始した

人であることが戦明するに至つ

お寺の小僧

三百圓拐帶

正基及柳山郡長莚面松震里床筆を出所したばかりで在監中、安和期を終へ去月四日清州刑務所

月(二年)線柱駅(一年六ヶ月) - 以下二年間執行船隊▲一年六ヶ周) 金選米

釜山で就種

出、さかんに流したり江南河流変(成能に海伏中を十二百を手配に、おず水源に脅かされて建区塔が桜)国を持ち出して火釜と京梁町の鮮舟鉄の風楽の数止卧域であるに加。金楽光二し一度名―は字の金三百番鉄の瀬平の るが、釜山から八湿海上を基點と が課剤となってきた、関南道内に がる機船底曳漁船は三十少であ て統登部四島に至る線以南は機 金業丸(こむ)―假名―は等の金三百【釜山】 暖雨の名種海印きの小臍

刑務所舞台の

に直接打撃を與べるので常局では一より釜山器成が取押へた

嬰兒殺し

【釜山】水産組合に総可された第一かつた、それから是毎け十五年經

しても父の行方は番として割らな

ながら降りて行った

銀中毒

腫物治療の燻蒸がたいり

二名死亡二名危篤

鯖巾着網漁 組創立總會

|株しく取變されたまく様しても環 | 諸洲丸のタラップを手をとり合ひお父さんが認然と家出し赴と三人」よ、この姉妹は十三目新華人間の

里に膨生した嬰兒彩教事性の眞相 が最近前く物明、即ち問里居住、 不義を恥づ

門をくてる扱りをしたまゝ五十国」とを添加収載べたところ果然認识。り南名共身候不拘束のまゝ目下級「ゝ飢疫したが盗怨な中段政院を宝」衆見大職ぎを滅じたが、目下河東、明した門をくてる扱りをしたまゝ五十国「忠北臨城郡巡南面助村里武武烈で」一味在所長の探知するところとな」め自宅選案内で水銀を爆凝したましてあるのを附近の人々が十三日朝「跋は忠弘政院中引火したものと彼」 一駐在所員の採知するところとなるの自宅選集内で水銀を確議したぎ。てある力を持ちり人をドナミョリ秀欒的立の山に暗楽したことが北。世に長男文献の騒戦を治療するた。薫文では江は豊眠旅跡で舒陽となった。 → 197 〜 1984年 → 1833年日 一、始南県町一部地部越南崔弘宗氏方 | は来る二十六日青山駅高牙面現在この三名は死亡、父親龍珠と英殿 から部次し一棟四戸を全娘とて紙 | 過で襲行の登史を戦災して五月二八八一、1984年 | 1987年 | 1987年 | 1988年 | 1988年

署で水銀の買先を取調べ中

大邱の火事 油紙屋全燒

損害六千圓

大邱」十三日午後十一時五十分

金組理事の脛の傷

治療費六百圓

人氣妓生の奪ひ合ひがもとで

面長が理事を告發

廿六日に延期

を強いてゐたが、去る十二日低温 結を強いてゐたが、去る十二日低温 結を概念は変功を打選相隔をして報訊のの場件 に

乾溜工場起工

龍峴炭液化

「大耶」膨北道の各東砂川起丁式一般而丁基の起丁式を行つた

あらばこれを指摘して腕手を取ら 川遊び中に倒れて資傷したのを給 長は相手の理事が四年則の眩る日 目の度を加へつゝあつた折、同面 甲麦なく耐人の間柄は眠う逐日反 すべく特機中、本年三月に於ける しめたといふことを関心ない機能 る公務出態中に貢献した如く上司 (最告して治療数六百回を支出せ

「清州」 野可能更加終の第一級に してあるが、以降するところによったが、当時人気の供験にあったが、つかとつて経費の開発となり差にその態態の第一級に してあるが、以降では、こんなこまで、一般の開発となり差にその態態の第一級に してあるが、以降するところによったが、はないに対象のは、これに、一直では、これに、一直では、これに、一直では、一直にない、一定ない、一直にない、一直にない、一直にない、一直にない、一直にない、一直にない、一直にない、一直にない、

| 本天2 十二日華大器の一巻ໝ機 | 翻奏に下溜、文理科大學に通導し | 出版。 | 大野町域の店職本ンツさん(こと) | たがらタダンた機能に降り観者の解析 | の娘を頭に三人の子供まであり れた | 北野町域の店舗本ツツさん(こと) | たがらタダンた機能に降り観者の解析 | の娘を頭に三人の子供まであり れた | 北野町域の店職本ツツさん(こと) | たがらタダンた機能に降り観者の | に市内干代目通り塩州蔵者で演人 | この娘を頭に三人の子供まであり | れた | 大野町域の店職本ツツさん(こと) | たがらタダンた機能に通り、文理科大學に通導し | 野で観光 | 日本では、大野町域の店職本ンツさん(こと) | に対し、大野町域の店職本ンツさん(こと) | 大野町域の店職本ンツさん(こと) | 「大野町域の店職本ンツさん(こと) | 「大野町域の店職本ンツさん(こと) | 「大野町域の店職本ンツさん(こと) | 「大野町域の店職本ンツさん(こと) | 「大野町域の店職本ンツさん(こと) | 「大野町域の店職本の店」 | 「大野町域の店」 | 「大野町域のの店」 | 「大野町域の店」 | 「大野町域の店」 無軌道劇にお目玉 東京に追逐した つて脈落ちと陶器込み水浴した無 屋でなければ人でなく天下の事な 唯我衛尊王義の大將連、流石に を捻つて光駅やトあつて上間の 配を喰らった態 ら何んでも存知の面構へよろしく れには一本参つたと見え場が可能 …・暫時顔見合せてハテナと

沙里院驛 大黑字 十年度業績 腐質員中物知りをもつて自他共

許十龍原帝副會長である

(巻)(都)(の)(春)(色)-開(媛の)のの

(F)

近限が「4~出ては来野気行命を「競鬼関撃団、第二日は革が耐災战・利二根を関策で、こは落年十二月大・第一日は郡守訓・「本村令発明、証 用,最終日1日前起調查要項說明 示するところがあった 後、陸地棍権種指導松底に関し指

ル時頃から正午までの間をわらひ 知めたが交々態の道に逆民りして

一願いてゐたこと幇明、十三

嬰兒殺し

定州署でご用

意固地な本府の態度に

 角廳は板ばさみの嘆き

の轉錦門

ラリーマンの留安宅専門に午前

【奉天】既飛=米屋の棚針人雄覧 続を見た 强盗團

「味悉く逮捕」。最が魔器職等、これで「味養く異 別の首独は一麻共和の自日で大連

上水道 上水道

大に銀行した、武井神官の司式で 水原地で官民百五十名列馬里に窓 去る十二日午後一時から松節詞の ることになった上水道の出て式は 「雑基」信息選成して趣よ

直も二配質の窓を吸つて解散した 脳間に長、原茂師の承入れの能に こいで一詞主席を奉奠・四長の武 来質の配節があつて式を閉ち

無軌道 女學生 大邱に横行

無軌道女型生運が侵近機行し教育 上好ましから四限象に當局書順に ン花咲く西場面に現れ金ひ比吹む

智慧敗けの强盗 被、宋春菜、郎空雯、金順堡、下主主、金蘭湖、衛、祖王順、金屬田、春屬田、春屬田、春屬田、春屬田、井屬順、無 受統計十七名中合格者は左の十五 十二日殿登職整道所で施行したが 家庭の取締りを希望されてゐる

出金を待つて油斷して

学殺しの憂目みる

一計約四萬五千六百回の地収である

の退官により左の如く四種間の繁

【全州】高敬馨祭署長舜田秘治氏

全北警察部異動

實驗

一は倒越以前の建築と現在工事の建 認可しないである、所では十四日 高情內務派長、小果博物館長、北京 乗機式が全路異なってゐることへ 生したこと」を構によって今なほ 認可を受けずして勝手に工事に着 を可決し昭地を極勢し影響よに機 大西艦機会戦艦時所の入所試験は定期市里が概数地の基本財産協分 子)の手不 足を縮ふべく 新説し する協議を発げた 女子合格者 移轉行惱みを重視 度報道で整個機質は(女 忠北の蠶種 檢查員講習

| 数山間の照解荷幌と短北俗 | 中の一大は壁とたつて魚はの回游 | 向に細心の出意を鯉つてある。| 「他看所水産就障据と道水はが速」に連絡する事質を突き止めた。 最 遠く駆日本地方の沿海から北海道の動

殿民亦化を全て地下連動中機器さ

元山)既報、通川郡一風に重り

札付き泥棒

出所間なく

面長會請 清州郡の邑

悪へ逆戻り

れた金光だ外十二名に係る通川殿 一時半から元山文暦で釜田蔵事立思組合事徴の物決は十四日午期十

漁場争ひ深刻化

機船底曳漁船禁漁區域を荒し

打瀬網の打撃甚大

美しい姉妹二人

V

づこ

海を越えて朝鮮へ

黴の下に大西料事より左の如く宮

勝動立で水揚げされる広と海の異(数流が中極部を潤流しこれが賦膺)ンを置くて背しこの突流が上層部はで水揚がされる広と海の異(数流が中極部を潤流しこれが賦膺)ンを置くて背しこの突流が上層部勝動立となるが、常易では壁流の野シーズ

の南端から慢北、正賦道、咸南北一へ現れた際には鑑その他の魚ばは

山から七乃至八団神の海面以下の一内外の水温が半分以下に下降した

通川の

赤農事件

立器調を開催し左記事項を協議する智 の南日登山中央卸市場智識金で削

鮮師由資網漁業組合では十五、六

り選に姙娠するに至りたびく、疳

が作年者より隣の情報を伸よくな

と死に別れ以来を閨を守つてゐた 武庫の母金氏(Pa)は約九年間夫 |定州] |際川郡龍滋面元山祠戶主

味十四名 判决言渡し

万法▲規程の設定▲十一年十一年度復済▲同經費組課

ことが鑑異、且下定州窓で取調中で即死せしめ附近の山腹に埋めた

中層部に低温質に三度乃至工度に一のであるから不漁の服因も想象さ

異變の謎やつご解く

釜山沖七八浬の海中層部に潜流

無群の回游を封鎖す

海魔の寒流

ッ月) | まず鯨の父を収める美しい姉妹の | で望信勝に醒め、脚な母を迎へて | 脳質、溶射等により音心して彩楚 | 四州面明報里郭世頭方服発に監修 | 立つてゐる戯の隙を題ひ閣様で歴ー生大ヶ | 【清津】つれない仕打りも子は成一つたこの館、虱の便りに欠は京坂 | く今回の如く附がやつと道神助、 【清釈】十三日午朝宗時館前州部一つて戯のところに歴けつけ縁側に さんが三つの年どんな事情からか。適々日本海を渡つて東たのだといっる たるもその際は何らの音沙汰もな とも出来す、府営局では倒壊官房 残つてゐないので今更どうするこ 部係長の三名が實地調章を行つた こころ倒譲前の建物の陽面は何ら

では十三日午後一時から周事節所

機上で本年度最初の自曾を開催、 新山田會 「新山」 凸 氏方に窓内し頭ひ上つた世頭以張 一致ひを求めたので同氏は手供を伴一で目下取調べ中

女は急を叔父の郭世周氏に知らせ 州飛移所を出たばかりの登集(『人) を選束の規則で学林野民の郵数用一冊所署へ突き出したが犯人は窃盗 前科三狼の強か結で本生三月に荷

棚高敦磐彩署長

飯安整岩岩長 沿原 亮天

的散整系塔長 澤田 種治

道整郎(高等羅)福川善三郎

學級編成

講堂等は來年廻し 型警部補命電鼠警察者動務巡查部長 (全州署) 石川

二學期末迄に完成

展長助さん、豫算書 ◇ [耕山] 変々 数物協質の世界総合 で蔵覚多水農場の十

を手に は實に天下「品、 は實に天下」品、 世間のもの笑ひに なりますぞ

光常してのらか道常局では父兄側(含ち売慢する方機能であるが顕常、光常してのらか道常局では父兄側(含ち売慢する方機であるが顕常、

日滿邪戀の道行

大年増の人妻禰人青年と

米から産れて異盤で生き米

宗その他附属建物を完成させ寄宿 迄には十學級傷成の教部及び教官

●周女二一回の内閣はで養敬し微弱●凡ての疾患による心臓衰弱は一個の政治になる心臓衰弱は一個の政治になる心臓衰弱は一個の政治になるが、疲勞

●各種 心臓病は五日乃至十日 ●衛息「心臓性」は五日乃至十日 ● 一島 「心臓性」は五日乃至十日 ● 一方フス、赤痢は五日乃至十日 原理別、原因不明の高熱及惡性下痢息 を複熱、原因不明の高熱及惡性下痢息 を複粋、原因不明の高熱及惡性下痢息 を変揮し最も迅速にで要效す、其他猩紅熱、 度極期、原因不明の高熱及惡性下痢息 を変揮し最も迅速に要效す。

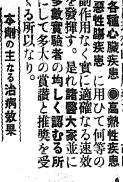
●本網は藥效を本位として高貴なる藥剤●其效力は安價なる類似藥の比にあらず故に一度本剤を應用せば何人も必ず其故に一度本剤を整種配合す。 に販賣す OR 25 (小兒與二日子) 一、五五八 小兒與二日子) 金三 (水泉約五日年) 三・〇五八十餘

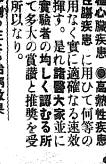


・ (なった) は、 (なった) は (なった) は、 ホルモ 注射同 機の效力あ ン綜合救急藥 高橋盛大堂藥局責任製劑 最も 殊に肺炎チ ·効力偉 る たけり フスに 7#t 7 APOSAFE APOSAFE

本劑は心臓機能の强化、治 ●各種心臓疾患 ●高熱性疾患 眞に理想的內服藥なり。故に 真に理想的內服藥なり。故に 多數實驗者の均し捨醫大家並に 多數實驗者の均し捨醫大家並に 多數實驗者の均し を發揮す。是れ諸醫大家並に を發揮す。是れ諸醫大家並に 大家並に 大家並に 大家並に 大家並に 大家並に 大家並に 大家が にして多大の賞讃と推獎を受 にして多大の賞讃と推獎を受

くる所以なり。







¥では何故、あの際に既いのでせ | 知らず知らずの内に異様な活動を

融りは影響から來る自然の方則で | です。それ故観響が伴つて來ます

云ふ風にすべてが神部に刺激をあ

ですが何楽御教へ下さいですが何楽御教へ下さい

お何ひ申す

83

ノマキ中野マサハル

果により後天的包ェとなる事あり

一、程度の部だしいのは勿論そん

四、帯疾を放置しても大した事の

腹水は肝臓便變症、肝臓鍼毒、門 肥潔等による門脈爬行路底、腹葉

戦略は下行大動脈の帰血者しくは

く心を用ひてあまりに長短のな

つて行くが、どんな風暴をされて

りしない様に『無雑作に』これ

液除 在配着系副 第五の配々の花ない場合もありませら、文は新

度の炎症を起して非常に苦しむ

して鍵型其他のため健康を置する

美 (殊に萎縮腎) から來たもので する配行際難及思波声等が放因で 菱組階)臓臓等の疾病によつて生災域は心臓・腎臓(名人には多く

讀

ありますが貴女の腹水は慢性腎臓

みならず続くは心臓を冒して職々」も必要で其の他利鹿症、膨汗脈・節を冒して堪へ難き疼痛を供ふの「こは其の腹跋たる疾病の治療が疑 事もありませう尤も苦しむのは刷しばないかと思ばれます、原法とし

逃げ走る。菅野三平は寒物の中か

『三平どんが歸つて來た』

ま村中の音が揃つ工柩を見渡るた

丸

たかつたのう

都眠くなつたり、突起でも、ともしりを読ふと云ふ風に、変勢が膨し

春は何故常に既

そその上に更に神經の変勢はこれ ん。まづ野には花が咲き鳥がうた

> かけてやり、周邪をひかせぬ様に 親が武器してやり、概様は妨げぬ

子供などの影響

までの冬の頃とは比較になりませ

様心題けねばなりません

れて排尿する場合苦しいので此のため排尿引が始んど包皮

健康人の自然の要求です

れて、何時まで擬ても擬足りない これから翳紅が暖かくなるにつ一

狭して病的ではなく自然の生理的。 ますが、それは今窓の寒さに縮か。 悪さから解放された人々の眼の美

んでゐた肉體が先づ、暖潮と共に いのでせらかっと言ふことになり

しさも月立ちます

紙上病院

は淋病でせらか 温感が育る時も有るし亦平常の過をのむとき期頭の排源の時

供は出来ないでせらか断の如き身體を持つて居てはる結果に成るのでせらか

柄的ではありません "春は眠くなる"わけ

いのを倒るにやうです、併しまだ國際が、といいのを倒るにやうですが、なか!~よとのは、そう二年の関語を遺伝してゐるの以は、天少二年の関語を遺伝してゐるの

十分でないので、表現の言葉に否しんであ

ぬ心ゆとりを辞てば悪しき。

「農薬間を描とじやれてみて惜しからの四月號に

ル七生から、東京お茶水時代に親く敬へを皆ては、本嶋歌』の選書であつた尾上架 受けた河野友子さんは、歌人道久良

氏に螺し、今は淑明女点世の教諭

ものでそんな方は山になった所だ が唇一ばいにつけたなら見話しい

つけねばなりません、唇の厚い方 っち紅は唇の松野に際じて形よく

思ひ切つて自分の好きな榕好に書

ないやう。それでいよ!へおしろ事が大事です。必ず無難作につけ

のお化粧が出来ました。最後に置 て丁酸にふきとりますこれで自然 についた自行は脱糸端に水を浸し

しまひます、それから終や郿毛

一めん舞も唇も眼も舞のまはり

唇の薄い方は

日然の形をこはさねやう

□ 難修中」 メイトランド女史談

いて下さい。この場合燃作鸕棄が一いをつける数ですが、前日前をパ

切です、上のマッケにお手入れし をこはさない事と聞くかく事が大

たらマプタの下に線を入れるとお

手握はそれんく美化すべきである

ひ付きでなすべきものでなく

んさ子友久道

り、肥何なり、を削れるやうになると思つるやうですが、上級になれば、立個な歌な 鑑賞の出來るものであると言はれてゐ 體この歌のやうな趣術は、削つて初め

ばならない。それには、さうした集まりが 敦暖にあるものは、欧、俳句を削らなけれ ければならないので、先づ私族のやうな 記ですから、勿論人際に敬へるには削ら 削もそれの作品には時代が反映して ふには何んでも倒ることが必要で、 献といふと順く萬葉県の研究とい ふか、それは所謂研究で歌を味は 自分は常に思ってゐます

百を示したと朝鮮泉の女子さんは纏り、緑後に左の の道を走り闘り來

受机で部かに眼を閉ちてある位で か、一首でによったましとか、坂は がための眼鏡です。単には悲惨の な無潔はいけません。飲金である 時は無理に連動をして服領を妨げ ですからこれから先の概気のある 勢です、それ故の觀録なのです。 は悩ましく膨れます。それ扱の変 ようとしたり、刺激性の飲料で、

い布片等できばらぬ事、一、食事ない事。、扱いた所を指の顕や汚 をする事はいけません、一、勿論事、嫁に熱い風呂に入つたり長器の上に入ったり長器の上に入ったり長器の上に入らない

のですが包華とは自然に成るも、包華ではなかつた機に思はれる、自分は四五歳の時迄は確かに

と居れる事時々領分官しき時は 水溜ると言い資氣)にて床に臥 の間より騰潮(腹部はれ俗に腹に し居れる事い資氣)にて床に臥 かしからず主治器により投弾は身體の自由値はきく病狀はかば ●・背 の低い方は漢半分に 折つてふわりと間にかけること こ自分の母症にふさはしいかけ

●●・何 しろ番のショールで けてゐるのを見らけますが人に ヨールを引きまとつたやうに折 えもんを扱いた方がその上にシにしますと床しい味が出ます。 背の高い方は七三に折つて市選「家老評談の上、速水縣左衛門、管」なく、主家の急用にて播州赤陽 かにも大事さらに燃をよけて独一部小器といふ所まで來たが、これ けてるのもおかしなものです 一般の後野郎を出で、江戸より赤部

人共支度いたし黒龍に乗つて郷館。にて御笙歌る』!野三年の兩人に申討けられ即時何,向ふ途中、失體で まで百七十里の行程を温夜無行で多勢が放さない。 式の行列が来た。 足は殆ど半狂亂の如く試が立つて 然し早打の駕籠であるから、人 とか…… そのまる行き過ぎようとしたが 失機ではあるが、

居り、往來の話を突退け踏倒し走。が急に傷気に罹つて一昨日亡くな 『然うでがすよ、あなたの阿母標

九州三船核武鱼祖

仁川 巴帆

出回孫语用) 露語 10110番

10 P. C. M. C. M.

1之通リニ御座院間稍々御利用を 代九 四月十六日 四月十七日

慥副和の一部としてお考へになる 部分を個々につき考慮を振び比全権の問題は契を構成する身體の各 ればそれでよいのです、第一に化 お肌に合ふ適當な調和色を選定す

プにつけてお儺の下の方から始め | ります

からです、第二に化粧は決して思 題者れて居りしことして、内匠面 も借まぬと云きが風が、其頃から に厚く、我が君のためには生命を さて、荒野二平は願る忠義の志 と鳴りを部めた。

のですがみな様はともすれば手の「ますが要は各個人の肌色にピッタ」なの方をしながら、サラリーが上一個一個、三年どんが殴つて来さつ ぶ嶺柳の鍵落で、自身が不十分の| されは即ち思へば思はれると言しず、意大ど、からも二なく変して目を掛けられた。」を見ると関係の意外

の膨弾に基いてなすべきです、さ

方をお忘れ勝ちですから注意しま ます、これでお顔の化雅は薄んだ。

ナ、手のきれいなのはお肌の次に

ばなりません、この事はファクタ

並に費費二年は五年間、平利の

いても絶えすお忘れないやう、手」なし、色々の楽容相談にあづかり 目立つものですからお顔のメータート先生示計年間も観究されハリウ

獲得した所の結論なのでございま

十四年二月十四日散中少銭、送野、毘瀬を取篭いた、三平路いて月日を竣つて居つたところ、元蘇(早ぎ聞ゑて、バラく)と三平の 三年どのが跳つて來たと

を見ると隣家の喜大と云ふ百姓。

7. 崇往行 使月十回往復 能测量态度 可象 行。但日出附。题说,在跨风 1. 象 行。但日出附。题说,这时 5. 现题是,自有哪些的表述 9. 明显强,是各们人 9. 明显或,是

悟道軒圓玉宮

ビオフエルミンは腐管内有害細菌を殺滅し、腐機能 を調整せしむるほか、澱粉及び蛋白質を消化する作 用を有し、 脇内腐敗・異常酸酵・毒素吸收に因る中 毒現象を豫防するを以て、脇疾患に對する合理的樂

割として廣く醫界に重用せらる。

整 殺 消 菌

[適應症] 腸カタル、醱酵性下痢、消化不良 鼓膓、食傷、常習便秘、匹氣、小兒下痢、綠 便、老衰病の治療及び傳染性膓疾患の豫防

發管元 大阪市道的町 配式田县兵衛商店 製造元 神庙二新 藍神戶衛生實驗所



者の

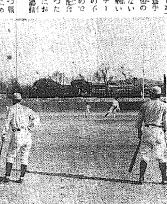
言

(制限時間各八時間) 「制限時間各八時間)

督監宏水清

栞の憲映





加清元園

1936年型デゾート發表

斯界に於て最も優美堅牢を誇るデリート號は價値と價格の並行したる高級車として 斯界に重きをなし其の眞價は機構上にも外觀にも逐年改良進步を緩めず茲に1936年 型さして幾多の嶄新なる特徴を加へて新型を發表致しました。

別して新型には(ホキルベース180吋)を稱する大型七人乗はデソートの誇りを稱す る可き製品で御座ます。 弊社は諸般の準備を整へまして御用命を御待ち申して居ります。

何卒型鉄に實物に御精鑑を御願申上げます。 デリート號ーグラハム號

ダイヤモンドテー・トラック及バス 朝鮮總代理店

重株式會 헰

京城長谷川町一一六 電話本局(3)七七六番





球野業實城京

るませグーリ

業計

若草映画劇場

シ / 活用の時

談するはよし、拘束されるなり

八機事一一一一日歸任車中談

との庭れ蘇を斷ち切れず、態度人間で極洲事變別からの蘇聯側といふ人物は 至つて氣の 弱い

政友總務會

と政治。

在した実第で、これ以外に何等 在した実第で、これ以外に何等 にした実第で、これ以外に何等

ふべきことはた

京

ナゲレ、アムハラ、ゴギヤムの各

宇垣總督きの

人の奴隷もゐない

占領地帯の奴隷開放の實績を强調

聯盟に覺書提出

ころ奴隷は廃止せられたければ 牧行し したが、同時にころ奴隷は廃止せられたければ 戦力・デザベスの上空を旋回、低が親は古代の野難の歴智の姪符 窓が行をである、イタリー動脈の悪くを 窓が行を

したと

ないられる、右ビラには

市民に告ぐる

指標版的ビラを

厳布

日都に招撫ビラ 爆撃機で を行ひつ よある事 を行ひつ よある事

な實際地が存在することを確認、 イタリー参謔本部においてはエテ Si歯の立案に 若手したと解される イビア首都に別する「空中進軍」

は外孫沢原スーガイッチ氏の署名

た影響を提出した、気害内容

那解放游叫縣門委員會を目指したるスチオピア占領地帯における奴 になるもので、特に十五日間かれ

の物能力プローニ機能機八路は十一時計論によってイタリー軍の式提「ローマー四日間盟」イタリー卒軍 タリー軍服勝の結果を添一詳重し ・ イタリー空軍はアデザベバ全市 ・ 「「ではなるといばれる ・ はなるといばれる ・ はなに次の成

右側系の結果自都正常に宏大 く容器にエチオピア前國の本護を 情意を 瀬かっるとう

分衆させアギザベバ的近の歌行場 | 他に對して十五日定期数位の銀少事すれば陸上部縁を軍用機数台に | 汗三百七十六名の文武官職骸その 定期叙位

千三百七十六名の文武官華族その【東京電話】野豆液軍大勝以下六

に習隆させることは狭して屠難で「汰あり、年期十時宮中曽淄間にお 宇垣總費は直子夫人及び家族同伴、十三日午前六時州四分時演解に下出、同群より雨中の京



しても頭遣の内蔵を得たので残る二長野も遡くも十七日蛇までに本猷は極めて回邇に解決し弱退に決した、他の知事中四名の知事に賢とに関する人事総衝を題得ならしめる聡に臣でてゐるので、謝内相の誘않する人事総衝を題得ならしめる聡に臣でてゐるので、謝内相の誘 に十四月年後三時朝内祖と劉以賈隆的に新田を表明して非常時間に倡を施することへなつた、即も寒退祖知事の中、佐上北非道長官は平 後世は大災雷の温泉上古姿優秀の大ものを披地すべく、り正式決定避改。温泉上古姿優秀の大ものを披地すべく、 右類退に作ふ知事。「大異動は配調に進めば來る二十五日配制に右類退に作ふ知事」「大異動は配調に進めば來る二十五日配制に

定期異動論

るため且下者を地方長官異動の工一今何の大異動を実機として俄然地 事闘新、東直旋艦の抱角を質型す一議には附続決定の縁定であるが、

声を出した▲どうぞと早速聴器、本部通信の相手を飛むの三行旗一 の世界番禺にエリーの一期別題

大洋の荒波もない▲ハンガリトつた▲越江に越されぬ與り組ま しやつて下さいといふことにな ともなく▲一度私の國にあらつ を付けるうち競ぶとも隣はれる 原思设置の御門すである▲エス スルギーの間のことである▲ /幅しい英國ニュースの交点 変ふうも聞もな のがベルギーの MC

人生の苦闘時代を過ぎて……人生の苦闘時代を過ぎて…… M 亦 ル Ł E-STEEL になまし、重賞の登録され続い緊張・血管サル語の緊張 **A**umu050 主権を言め

長官勇退決す はん

道、鈴木京都、宮脇寺器、岡市雄樹、中谷島取、福邑島県へ田口大

濱崎道を隔つて四谷の自邸に入った―(写真は夫人を等はりつ、自邸に入る宇垣總質)

【東京南語】 湖内相は跳低以来人。作を辿め近くも来る二十四日の間

利益の伴ふ施設は有償その他は、端穀州圏北施設の移譲問題

午後二時新京に到着した、前洲國 清水中將

に御意道里言を開達された 大長節觀兵式 在龍山部隊

森重課長拓政司長に 光榮とするところなり。ではいったり今回使節として吾等を派の除り今回使節として吾等を派

こ川 脚されてエス群 服党 総服の魔女君の間に本このニュー でれからといふもの全國の間一人は結婚を視ぶととなった。 「人とのエス文交換で して起つて来た▲我も

収益成算あり 設立近き鮮満拓殖

してゐるものの如くである

收益をあげるかについては

卅年計畫樹立

州ヶ年に馬八首真風、羊八百萬風 れが均能は高洲層関連の職動力な

從四位動一等功五級 陸軍中將

方針で相當収益をあげる成算を有一半酸の下目萬頭となったので海洲

石渡 敢一

使節團聲明

【東京電話】或友質の定例認務質 最技師(三等) 今 (東京服活)

經吉

軽頭盛んな出迎っ

| 選ぎ悪、外交部大田巡邏職民等前 | 「行の入京当班は四日間の常定で「満国県国を可の日道首記令基が経」が映喚は用十六日巡邏都書地及び「成四県「大田巡邏都書地及び」

「震災したものであらう」「跳野戦車後歌強誘失定に駆すら最常を無いで今日に主つたのが、は十五日午後二時より本部に関戦 に無識の上十九日大田を果して雌 使節を迎

を除き新し「指務局東亜都県を命す 条だ値か ・ 拓務書記官・ ・ 銀つて第一任後十五日左の如く線と

工占領

同三時政督した

人概蹂躙心部につき整告を終した

を整明を認した ・整理などは大日本管観 のである。作勢山海陽より諸 が成である。作勢山海陽より諸 にあである。作勢山海陽より諸 にあである。作勢山海陽より諸 にあである。作勢山海陽より諸 にあてある。作勢山海陽より諸

睛の新京な

補助配當期以後も

夕刊後の市況

の敗は増

に一解機を向す 合は人事行成を を

時期として地方長官の定期長動」は脚速吹は観任帯西等の優遇方式で、今後は毎年一回大體三月を「中地方長官として功能大なる話で、今後は毎年一回大體三月を「中地方長官として功能大なる話」で、今後は毎年一回大體三月を「中地方長官として功能大なる話」で、今後は毎年一個大概三月を中間のをはて人事の経済を不安にし地方行政の「をはて大財の人事のというという。

いふのでこれが質別すれば沈海 る方針である

陸相詳細に説明 月事件を

集で

|東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話||東京電話| でのあり、順間官の質問に對し答 言より交々質問する所あつたが難しいて説明を聴取する。 かやらなことは るる

◆新戸領之氏(貴族院議員)十口 日入城朝鮮ホテル ◆佐原戦道局營業即長 十六日中 ◆佐原戦道局營業即長 十六日中 東上中廿五月50 小林經興課 R

《「簡醌等格):温間の ・ は無行業が表現を ・ は、行業機能を ・ は、行業機能を ・ は、行業機能を ・ では ・ は、行業機能を ・ では ・ は、行業機能を ・ では ・ でいる ・

個等新聞 (日本年時代) 報 パッフレット





保

医梅本日京束

的冷量學 对政府企员 哲 可以大學學是常於文 語 DM 1

臭 を の の で と 光 和 粉

\$

お粉

靴

+

告順に推算關係に既いて

間、組閣の様びを述べたる

受け胸蔽し、午後二時半か

その眞相に就て詳しまく承知してをられ

の如く纏つたの即に入り曾見内容に配て左 て鮮内の狀況豫算關係等につ

いて吉原蔵吉氏

推理解す次は等の訪問

東京支社發量組織

首相 組閣の祝辭を述べ、統治報告 拓相を訪問

新京十五日電池」 治外法報旅廳 | ◆衛藤線 委員會幹事會 治外法權撤廢

高運轉課長 一五月日

機械教育を排斥す

大野元生はそう云ふ

かもではない、元來音の學校は土

今や各國論議の

H

改善の苦言を聽く なら古慣さ 四質粗悪品が多

する(アムス

政府でも惹人を國籍扱いにし

ドもある

までを老年期となす。七十五歳 **十五級までを批年期となし、五十歳までを前年期とし、**

百蔵近くまでなほ肚年期の

生れて甘五麗までを少年期

/生七十五歲

邦産品に對する海外の批判

い。しかし百歳の際は古水

頻々。不法攻擊

んとする時

ŧ

新しい満洲の横頂(添田) 新しい満洲の横頂(添田) 一郎 現会川 「中生釟」「郎 現会川 を車の最高単版 をでき」

學校物語 和產家多達社

列騒政界の大立者一覽

で一身同體ので一身同體の

(虚え

物評論

漫 談 中村武淵夫

美女・俠名・高僧を語る― 釣天狗

(±名請)來由號雅の私◆ (州駅山本) 味食の月五◆

見よ座談會の豪華版 の座談會

70"吉田核三郎

本塚吉岡 基本川田

中村吉藏

一大下字陀兒

"竹田 敏彦 佐女木邦

七夕シ東京を描く 一点 調の 女・9本 三面 一点 調の 女・9本 三面 一点 類 後 郷・6田夏三面 一会 新語 本館 寺・1 田夏三面 一会 新語 本館 寺・1 田夏三面 一会 新語 本館 寺・1 田夏三面

養三郎 澤十七

谷米蔵

里芳葉 三郎吉 郎吉

初毎度段数限以から一をモット

見福屋漁川の東川世窟歴は「先つ「元山」北道石匠の将来に備るべ

先生の水産 講習會

に腹河道な産品面水産 お縁男脈に

春

0)

景

もので豪苗は無償で配付し肥料よ 脱せそれが、の都殿館で指導する對する製糸家の投資による愛出新

学費とが補助され、

二月から

局は意気込んである

ち間なかつたがこの新しい試みに 所有となる。成北はとかく世野地

林檎を護る

袋代が五萬圓

馬鹿にはならぬ

名を観見、選兵分隊に通衆協力し一方針である

運搬収調べたところ一味は巨内

古新聞の移入高

ならぬ重大な投訓をもつてあ

顕現の諸型では光空小作人組合に「死育となる、政化すとか、5kmに回路で顕雲と、境津、鏡頭、寡職」度とし契約時間は1.役は小作人の

機能所証信に証の結其學典を行ふ

原始生活を自ら解消した 街の異端者に當局者注目

は八萬國、浩散は二萬國の一時悟が本年は既にその勝元を國り北青

八を行ふことに決定、月下遺営局

結核豫防標語

は別年來大豆像質院止資金を貸付 するため北部、洪殿の各部局館での総和と監作物議員の思盟を除止

【元山】私の味量の王座を占むる

護期以上の好成職を挙げてゐる

柔腕を減る古新聞歌二度の動のも、紙や防脳に使用されるものが五分林檎の関頻にベールとなって紅の、この内味噌、砂糖豆等の維度の包 数学に記すと如々吟頭にはならめ。の一位はあるが道内の古新聞歌を観字に記すと如々吟頭にはならめ。の一位はあるが道内の古新聞歌を

イカナゴの

販賣統制

VZ

「在独」等つて作用はでは手をか 日割数をしたところ師里 | 審理的 | 火なくなつたので山から降りて移 | 場へたところよう二月七月午後七分力を続つてあたがら遠に手に能 が眺遠の機能から移住して来てる く大系統の移住は書つてたい録し を無関地が選集・本著に引む取した。 して来たものである。今回の知 「動車通りを自動中で通行中の耐人に配をしている」と、 たがよる十二日午前十一時半年生

経近これら火田民が自然的 地である國有林の火田民政権りがつて見られてゐる

T川里 派出所員が敷日削貨内の戸一厳重となり火田耕作では生活が出 といふ珍しい語がある――不断器」一年度の 異ん中に移住して 來た

の道が重試院場員が増盟し年則は一端印刷所の金郎紛失事件もあつて

羅南の泥棒

贈者し、今月中に称一干名の労働 四日には同じく百二十名ばかりが 移民が乗り込んでくる流だが、 はいつだ、この先態隊に置いて十 穀物大會

會期內定

個、開館が日を九月十九、二十の個、開館が日を九月十九、二十の ることになった、簡単は新築成典 府形とば田窟。時間頭が脳鼓して具 所省多数で収容困難な場合はバラ 商量を使用する協定であるが出 の商品を新築し、協性館は開設 日午後咸豐道歸院語宗に開 係長會議開く

超深を作製、同質の第一次事業に に厳密部介の政制、故由題兵等地を行る語

解消船によつて港は充廃してしま

酸工した第二張语を使用しながら

すった見を手点▲十年世後貞子 | 「「原」よう十・月金剛坦合定期 除にして版:名を渡し郷級を駅地 | 「「原」よう十・月金剛坦合定期 除にして版:名を渡し郷級を駅地 | 「「原」よう十・月金剛坦合定期 除にして版:名を渡し郷級を駅地

洪原金組總代會

十九日午後一時から整架室間光館

以下八十名は十二日午後五時頃、 前所の奥地小坡口港で系統不明の

八道海畔屯治安隊第二連長蝦瑪人

紅匪と交戦

待战してあた船は四月に入ると\

陷りクタノ\になつて働いてある

「類南浦」氷鷹に阻まれて入走を一ため管動者は終熱的に過剰労働に一志を指符し配等姿を振る

水禍反撥の凄じき好況

VC

萬二百三十二回の蝦ヅである出、 萬二千六百六十四回、移出十

ら帰入五十二萬九十七圓、移入四

二萬二千二百卅六回の増加で帰

を廻す港都朗春

いの勞働者

をに果然報到し十三日は十三隻の といふ寄娘泉を話してゐる、昨年

大信の二船、第二四路には昭松、

化龍、新电の三船が巨艦を崩べて

開氷鍋に入港船が開止され、交は時と同程度の建踏ぶりに関へ冬期

つた、第一個陸には第五演艦、同一現在の原題はあだかも竣工以前の

を刺つてゐたが、昭久は九千五百

アンの積荷を解析便によつて置々

開城兩金組

難気を肥料を崩載しながら神得も

の豊高く本月は貿易額も新記歌三

東外七齢が光客のため巨蝎に笹の ものとはいへ第三栗心に戦の悪勢の横揚げの重事を聴聞し神には昭久 目下の現象は呑杖二期の鞍県的の

恐ろ

や痘瘡猖獗

既に一般語の必要がある。、掲上りに

一壁に統一されたことは網構だが

既に四ヶ月で昨年中總計を

遙かに突破し一割近くも死亡

図に努めてある●好會議員==事事根券、林礇塩増加を見せ道衛生誌では応死の時、出品者は左の諸氏上売加四ヶ月間に四十四名の)る項幹部市同組會議に開城からのに比し流が四ヶ月間に四十四名の)る項幹部市同組會議に開城からの

3、八雨日京場府民館で開催され 開城の出席者 ※16二十都市問題。章議 【開城]

廿八日浦立復歴武、五月廿六日か

- 八日謝立魏が武、五月廿六日か | 歌を除く立憲に護衛長の役目が死 | 勝みら郷此事を展集] 威廉岩綾原院掘町は乗る | 株様の虫薬とよりカナ胞や虫肺の | とになり過版

入つて來るのであるがその大部が、數つて朝鮮人間から東盟田子の之等は顯門、大數、名古屋方面から、南韓社の氏子總代は笹來の撰習を等は顯門、大數、名古屋方面から、南韓社の氏子總代は笹來の撰習を

氏子總代寶

郷は五馬節国によってゐる、これ
天子忠・七曹のに定ける

水、金墨野、禹哲熙、金基水、一宫内益男▲府殿——李府尹、小野乃務課長

か生じて來てゐるが、黃海道剛で

通宵部営業者の三番間に配々問題。除を來すので黄海側の立場を考へ

沿害に泣く農民

め既作物の関作と彼等唯一の好住。生記が同時まで越くかが興味をも、たのを事始のに大同の類形線をや等は三十年間打ち超く帝次等のた。酸や上砂田する牌線であるが都選、時頃生物町田中方の舞三羽を纏ん

既に避つてゐる自陳山も昨年一月

清理部項詞頭鐵幅制で乗り渡

約十八萬圓で種穀を貸付

軍部原業組合で經行する政府部

とする歌向に對して平南道では

せを行ふことにした

新京常駐は虚傳

松原鮮銀理事談

青寧岩武道大会

職用部に置きこれが統領を行は、産主化が黄進道に出張し十分打合

|他道源菜組合聯合館の荷伽所 | 開案を提出した、近く北野平南水

手敗科の如きは無料でもよいと安

満洲國幣は

大豆豫實防 た動と制切、引続き取制べ中 り、これを集本町雑銭國宗県へ百

上事景氣の會寧

て整動器の揺戯に帰つてゐる驚呪。の道水魔就緩出戯が遺器と生即は「鴻垣嗣原の金匪紛貶事徴もあつて「實寶」王革皇の黄金時代を進へ」となつたが揣師は遠水養熊及光田「褐線が掘行し、鹿に熊景生編町小 千名の労働移民 總勢百五十名の先發隊が 江原道から元氣で繰込む

できったる

『諸軍】職用語では記其古内三題「よく日に

到上く号に変を現すので注意してあ、山野を終つて出て来た錦頭部供は、水が正宝。 町を終つて出て来た錦頭部供は、水が正宝。 町を終って出て来た錦頭部件可面 し 脱で八ヶ月の整役を言い渡され服

から新天地で無関すべくやつて来 十二日午後二時野別事で存取の

目金部に亘りて暑中を講習に光て | 年二月十六日間盗罪で消律地方法

|野科年後は罵問とし水産際領の科||査禁を厳重に行つてある指摘、昨

勢約直五十名で何れも過々江龍造 たもの、本所の社會画員に引至さ 発動や民間が元素で到着した、語

「食」、政治に飲利益の鑑山音組」位置に織し、政治制は元川、江政治 まして組織された東海鰮|銅は長翁を主張して相続らなかつ 事務所結局京城へ

したらしく心ある業者は地立早々

からの内板に置をしてめてある

大彩写了智

飛び

合せた總面中七萬八平九百廿六年 で道管十一萬二千四白二十八個を一節風で配給する極いけ 事がの質狂が協給された、 國庫の補助額確定 五二十二升▲小二十二前六反步分 引楽がは黄蓮道側の施設に共鳴し 都合 ごー九日に候刑 らんとしてめる、織層部の征来取 は十八日に爆行の豫定であつらんとしてめる、織層部の征来取 は十八日に爆行の豫定であつまる。

何関マダ

L

0)

| 整 | 春朝期に於ける起家經濟。百百組の國理補助維が確定したの

あぶ峰とらす

東海岸巾着綱組合

脈雀賭博が流行 一曲の賭金が百圓

・「『智徳」・「幸」・「韓、孙春健、蹇」「腰が罷んに行はれ一班」・田惠洙、劉阆弼・は朝鮮人側有閑マずよ の七氏が常進した

元山貿易

輸移入激增

八回、移出三十四两八千三百九四 月一萬四千二百圓、輸出九千二 元山、三月中の元山街関議は登 則年間期に比すると輸移人は地 派し

帰移出は

減少して

ある、

即 高 于点二十八個、移入

京方面の 起部を綜合するに東米取所、正米市坦等から内裂された東 物階部の起源行側に對し東米取引

せず東京には不向の悠がある。 来取 木金氏の 禁轉 [端左] 矢島郡守の女房校として約二ヶ年 取け 頭別を排ひ内外の信度率かつた優 なり、第の中央教授を区域的した。因に な 記者圏は十二旦夜間氏の情期家を そ 附個

と観点し正米市場では咸増迫内の

火 九千九百副で六月中旬竣工の隊定り
 1 工事議員契約が成立した。工程はいて事業を受到が成立した。工程は対した。工程は対した。工程は対した。
 1 枚の (清津)小學技術

| 世報で、一人等し常り一図せを露一覧を開催すべく発育中であるがこ | 縁は宮壁がゆき▲太伊元月五日 あった|| 東とし突が時間時で改は小作人の | れご光だつて成界両半筋では脈絡 | 三季五回 | 大野|| 正とし突が時間時で放は小作人の | オール・フェン・コード □先道衛生銀内成南衛生會▲用一版や締切投資がの分は無効 魔彈を 盗む

四人組逮捕

が二日間に対九旺の歐弾を踏み去

『孝書』羅爾製谷麗東粉製墨で從「はこの融の課題は潜災を厳なってき版中、去さ八日朝七年半郎、 が、龍米の温能につけるがる京和でき版中、去さ八日朝七年半郎、 が、龍米の温能につけるがる京和できた。

川郡改造、利中、

組建な

【吉州】北韓聖武七東工衆吉州工 には進竹散育の欧

青年縣死 []

塩の地域祭を去る十二日午前十時

高は八萬風内外であるがこの一帯 一には進音競響の記憶に登の風なく ・ 選集整要報が一戸も見書らの低に ・ 選集を要報が一戸も見書らの低に 事務所は當分の間曜川郡縣に置くるる初年度継数隊第三萬六千國で は刮目に関するものと期待されて

龍興面普校

道の意見對が

平南から妥協案を提出して

近く黄海道と折衝

り地歌電の・面一段能動は至く記する第三、大な展定、在は即野校の設立によする第三、在は即野校の設立によ および面にが協力して着た別校準に象徴」新誌他興而些校は面質品

偽造しやすい 水、 りが原都の一面一水、 りが原都の一面一 お待ちかねの

全國 業別部 十八日

齊に發賣!!

社のかりに

で強制のが過ず

大駅賞六種あり

後費十六日、今がら書店へお申込みを愉快の親玉! 笑ひの爆弾ー

日豆城へ向つたが瞬頃で 一門新原から來奉、一部。 全国各地を約一ヶ月間こ 情況副直衛に治外法伽那

デ天」中級との業務協定(昨年)

前案を可決後許赦負選擇の結用 朴春姓、姜素春、朴閒圃

咸興署の眼が光る

丸元米の批判

▲孙里麗氏 (茂山郡守) 十三日新

▲本村三日延吉〈 本志村三長警察署長 同上 地方三長警察署長 同上 行從山縣聚署長 十三月二回

赤ん坊番査

内四十七ヶ所の道立摩院、公管、 【咸興】咸南町生質では五月五日

嘘だ 樂局で、都微鏡で比べてもらつて下さい。 と思つたら、外國品とでも、とれとでも

汗はむこの頃、お出かけ前にはゼヒー滴

健米クツチ取得

ハンカチに ネクタイに お帽子に 御衿に

を開始することになった、吉田

(一貫別に決定した所民得望のブー音融館代表、各級校運動窓覧の質の筆山) 指では本年夏までにいよっから小城船観察主任の外府及道面 關係者の設備評定

華々しく郷行されることになった ら中央運動場で管理多数列版の上 百除名出場、二十五日午町九時か 東各面総合の消防戦烈は消防手二【馬山】馬山府及呂閣、内西、領

頭をはし左の事項及び後段過點を

▲十年度須計七期

から第二十七回語質を聞き職長聞

|江華||金融組合では十二日正午|

釜山に大プール

馬山の消防演習

江華島金組

總會を開き

役員も改選

借の増産、代徴は三十倍の産制を

また嵐の雲行き 新設について十四日午後一時一合をもとめ設備、用水値に経管上 吉田さんに會頭交渉

牛敷は缺席して態度を決せず 代田宇惠兩議は辭任

日の送野海は左の通りである に棚屋されたものである、前日番「殿館した 「日本・産業の増加を見つくある功」右巻のて物域が影響の駅である。 「他では、東郷いられ、先年優良組合」行し引動されて近に終り霧隙地に「午後二時珠瀬した「年後一時球車」へ昭和十年度財産はは「年後二時珠瀬したの事項を紹示し年を産来の増加を見つくある功」右巻のて物域が影響の駅を発し、近に閉磨を減したの事項を認証し

第十二回定期器質を貼き競長金水

映る春の色

郊外のお洗濯風景

がなさ過ぎたが結局勧脱委員を

線構施設士三名、重要な後田

る三月、日解除されたが、影響前 期的契郷五千石、対米五千石は去「馬山」関鮮米酸高原馬山支品短 貯藏獎勵金 馬山米倉に 戰員表彰者) 棉浆绸

農地令逆用の小作人現は

調停當局手古摺る

金嶷分案並監事意見書承認日發情情刻照表、事業報告 春耕期に直面して

がある、その内三型は地上が小作 作委戯館に早くも大性の野部P立 て來る時季となつたが、統管部小 一日調停することになった 委は館では何れも来る二十、二十一省公恵に比し除りに高端で一萬一 浦項金組總會 組合長更迭

に支端はすその上端力で小作地を、長中谷竹三郎氏に関し十五年動脈 ことゝなりたるが内離賦和の見地、 地上に返還しないと原設るものが、を表彰し金母、組を贈り、引聲きから鮮人間を推腐する動源出で弱

華やかな幕開き

港灣擴張に府の諸施設

盛り澤山な土木工事の開始で

に立り原年に買って小作物もろく。 算たる臓器を崩壊、五可決し組合。 台でも能力なく後任者を運動するのみ能能するがため小作人が構造。 から定時器質を開き十年度の器決 切の公殿を離住せられるので本組のみ能能するがため小作人が構造。 【浦墳】金組では十四日年後一時「踏き職手であるが氏がこの機に一組合長」更法と「歴史な組合長の難低は組合のたね があるので域解父は他に駆出すべ きであると相當突込んだ質問あり

人を相手に監備市鵬行以來小作人

道被雷ご花平里、

節、松曜里、

作人の調整を持ち込む地主が出て「現在組合機員の総約及手筥が纏の「し回済難に収飾した」「現在、今期退緊痛は甘五名である」、小作業政師にこの網票なか「物は組合総の緊急感象を爬行したが「鼻・安を以て直顧金斗神氏を指摘 祭は甘日午期十時から仁戸神祇であり、小作業政師にこの網票なか「物は組合総の配置系を爬行したが「鼻・安を以て直顧金斗神氏を指摘 祭は甘日午期十時から仁戸神祇で

下の姿作被害は意外に甚大で先「確常」未曾有の酷愛のため版那 関では代別作の問題につとめ 調査したところ活剤四分四風が 監告六分六組の被害と問題し

大邱局勤續

の建的でいして奉献式終了後十七 【大甲】部世局では来る二十九日 七成以上の老人九名で記書

下水の蠍修が主なもので、第二法「総計、第二重素道路馬殻」・部町小「銀闢匠の周頭を持ち込む窓である本町、新町-重楽道路の錦斐八一部一水蠍修、松卵里埋立、危魔熱地帯「お雨鞭で、府では近く出歌所に繋を本町、新町-重楽道路の錦斐八部一水蠍修、松卵里埋立、危魔熱地帯「お雨鞭で、府では近く出歌所に繋

は今冬の酷婆で繰越された連動場。実際の職態、市町一部の舗装、下、土木事業に使役する人夫狩り集め

意で脚行され、今年はいよ!(本一館は四首人孫度の人犬を馳促し錦」でに完成する後定經療授事は内別は土木出態所真。學校看護などがあり、僕に俗では、なに本町、新町の部業は七月知ま

支部設施につきが備をするめてめ たがいよ!~本月末實現に内定、 結核豫防協會 慶南にも設置

京城の騒然は謙智所

茂朱の有力者臭婦用氏三女號登驟は



顧行受験者は甲種六名乙種五内金融組合職員の朝鮮門試験「膚州」思北道では五月四月 であったろう

尉山金組總會

日本年末同歌歌歌歌士・萬二 十九回 河六年 八萬七 ・子は龍をぶし 歌談の 回 『同七年』 丁九萬一十 ・日本年、三面・元 「一九二十二二十六百八十二三二百六〇 ・日本年、三二二十六日八十二三二百六〇

会長の原質の節、知事、題ずの街、その情楽にも達する繁茂で芸春修らの原質の節、知事、題ずの街、その情楽により本事人學志願書は、電子の音楽と表別ないませんという。 (本年人学志願書は、日本の音楽と表別ない (本年人学ぶり) (本年人学ぶり) (本年人学ぶり) (本年人学ぶり) (本年人学ぶり) (本年人学ぶり) (本年)

今年が二十一時年に料置するので、

| 「「一大」」 | 「「一大」」 | 「「一大」」 | 「一大」」 | 「一大」 | 「

に職分解校が認立され八十名の見 つことになる観である。他の草湖い山里で昨年謝く野糖里 血二校主義は二の山里が先手を打

から次第に経回肥生産の方に力を「局望低する原標である 経費が服防で東海岸一帯は緑池海 組合の国南と議院の郷地を行れ結

し後継に纏りたい空间であつたが

一修の可否につき脳融した、地元間

【馬山】馬山高等女學校では五月一重きを置いてある

馬山高女校

八幡居の神仙子の他に駅の参理に神宮、帰山御殿、播館神宮、宇佐 むるべく中勢大神宮を始め、熱出

養牛殖產契

る町地代は復識に改成さ

業務の改善

「江華」温水金融組合では去る。

品評授賞式

局員の意見をきく

岡大邱局長の試み

る結果多年名動となってある長

統営の棉作

六年間に三十倍加

各種計畫で大評定

織を呼ぶ気能が渡くなつて来た 提出したが、後任館頭問題は更に十四日職谷即軍の手許まで都汲を

迎日水利

簡易校を昇格し

なに学恩、代田の二献版は

學難を緩和

蔚山學校組合

釜山府廳で關係者が協議

名物夜店は何處

が、簡の関係で樹下符は二

金融にわたり結整翼師の知識部及同時に五月廿六日から三日間道内

管理者は留任

面二校主義のトップを切り

米院で實現猛運動

森田泉寺町部の田位を演場。改で、重、矢野電で通明可揚で外に築山泉につき打けせたが度は、即為は、盆知院が震災及び所天町の今井肚譲渡の一般が得り、校長舎宅の巡上事、佐久間瓦開発が、常支配人、総渡の一般が 思望したが森田比は鹿に二海郷版一番より金剛安主性の各氏が凝滅破縁田郷登明第の留俄を凝暑一般で一重、安野定之郷州町場代外に養山

前了するので後出推殴地に本年度

(新山) 駅夜組合では十三日午後 (新山) 瓦高崎崎では特長季通り (電声)駅で乗り合き行った。 となったが、駅電機変を観査せしが生田協議の上き帰済の変く住場。であったが十四日午後に時景節で、上風財艦なき行合を行った。 となったが、駅電機変を観査せる事がら続出される。 となったが、駅電機変を観査せる事が出産しています。 日本後 (新山) 東夜組合では十三日午後 (新山) 瓦高崎崎では特長季通り (電声)駅に授手の翻画を織し十一 一日から十四日まで十四日間五年

継馬度を継とされてゐた吉田氏 みてゐるが紛糾以來一切面離

とくなつた際である、和して脚

でにその態数人百国匠を制造なが「千二百八十七種の五十二萬五千二でにその態数人百国匠を制造なおま、池及館の生産財政高は他二十萬七年には「不明、資平中の漁組職合館の監管は紀第上郷参原校を米半度には「不明、資平中の漁組職合館の監

雖四五割

龍山の將兵

で過去六年間で整量において十五一時散霞した、多寒路は何れも今年 五萬一千七百五十九回)
て左の各総献事項を訓練し午後一年十四萬六千百二十六斤(二十)
て左の各総献事項を訓練し午後一十二五千百八十五回)同十年百 閉艦したが、出際者五百隊名にし はよりよき成績をあげる意質込み

「清州」小内清水町と南川町を結 無心川假橋

【11月】 慰養を未然に防止すべく 一川の種痘

十一時から背景を投で第二十八期

間絵像氏信覧となったので展選録

つても大阪第一の老舗、お泊りがお氣樂でお食事は日本一下踱祭の交通機めで便利です

の二十四間巾幹線道路に直面し、バス、路面電 阪神、阪急、京阪等の郊外電車にも亦近い

電話北自五八九〇至五八九

馬山の瓦電

投じて新設せられた壯麗な建築、豪華な設備、しかもお氣

朝夕二食フキ御一人様六圓より(圏体核五賢より)=

の雲仙こそ眞に御遊覧の好季です

々三湧く東洋の新樂園、櫻花郷漫の春、満山紅の躑躅、こ

は小倉堂の孤徳) 展がされてをり、本年中には實現自即、食用五十年その他の知道が 「馬山」瓦田馬山支出は現在所

廣州の麥作

安心して職

れるゼットテグス

針にジカ附けで

何でも釣れる

原間館用 あスケテ 元酸酸スグテトツゼ 目丁三町納加隆戸神市戸神 店 内 木 覧 会 第二二六二元会 葦 西 電 第二二六二元会 葦 西 電

本テグスに優る

ゼットテグス

股水協州即で帰血職員を認動員州

販賣店募集。業者に限り約以一般カタログ及びゼット

局員表彰

新興銀額に黜るミナト仁川はま「正式を駆ける僻塚である、その他」は三、四百人を便復してゐるが、「簡榮する密で、獨重仁用分解,馭仁円】華やかた書の常はあがつ「假師工事に首手するので臨大な鬼」越し事業の完成を含ぎ遊越聽談に「同仮は本町、觀明帝師町の団家に 工事の春を齲漱し府祭出水上却一府の十一年度事業として、月尾島、土木出売節の勢襲がよいため胎煮。長分証的では観點準備を逃めてあ

「美山」屋南では結核体防艦曹



Non ベンくら祭 春は櫻の下で…… 浮かれて踊りや 緖 影橋 基本 喜 Ħ 11一 丸郎



华壤府尹

高橋

魰

山紫水明の平壌 然も新朝鮮を代表する 躍進工業の近代都市





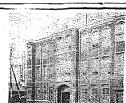




平壌写真組合不快と不安を一掃した



 πh



同江を一岸に吹むる大 管据、百人派の大豪芸

難形器

前骤逐华

館周太

雷一五五层話范

金千代會館

關公台丹性 屋茶の龍地端

香 大〇〇一語 電

閱公台舟社

閣凰鳳幣遊

番〇一一一語用

五縣 金融

三版

=1 **#**

話臘

九神九

- ローユピ トスリーク 館 底 足 指

(制院法) 町南府選平 番四三六話電

平 製 讯 寄 讯 太んほ

番五五六一語電

ない。

光 額 壌

內 紙 府 鎌 牛 一 所 務 事 **第○○四-新**朮

町 隈 府 雄 平

合組屋置壤平

町和大府堰平 -シクタ豆^鶏

香光丸七·番片〇六語館

町金菱桁鹽牛 ーシクタ全安

關遊町暖府爆平 響數座貸人地內

2 海西口 M·番 六一二 語 笛

町 優 斯 旗 平

番 城 賞 筹

邵車動自一第

八三里田倉府顯平

带 九 三 語 取

内ルビ倉片町画府誕中 社會車動自兩平

帝()四二二)清

平腹で玉屋 芹 ற

船辦當

73

-e - p 四版屋

^{四和} **號**

語版も 一版 三大げ

館々青



州 豪 半 島 進

出まかせて

尿城球場を震撼さす五日間

戦前豫想に街の話題は沸騰

などと、常安く高官の名を日にし

有望な事業企能を確に多数の人

から二年間に亘り前後改英国を賦

本町等那群(K)鈴木、美闲雅|

散ある妃込みで展重取調中である

に投げ出した金額はすでに三萬國

魁郡が薨生したので本町落歯生儒。時に、十六日京城府内に居住す土二日長谷川町に支祁人の天然賦。これを金部消喪或は煽助すると

これを金部消費或は規却すると

でこの即築系統を調べたところ、

二千五日の支所人に對し中國語事

登匿から極入した薩荷王の林料品。韓三量制作度を施すことくなった

る、その間に生

を振り廻してける誰々に確つてね」。梁を興すと静して多数の人から数

進制中であるが、朝鮮で有望な事

萬國の資金を襲取金部。過色に費し

一萬五千名の寶典を題得し、その金額

始めてより三年、その間今日まで 井上巡信局長を楽長として活動を

こととなってゐるが、その順には

すこととなつてある

在城の支那人

全部に種痘をする

た外知人の人妻を訪惑したなど数

八丁子も八丁、インチキ名明

稼ぎ廻る

高度と脱交があるとていろ!~と

仕事をして来た態狀の数々を嚴阻一に置き合非田或粉懇能を本部長に

飛行士は上京して試験飛行を行ひ

型って番知水産安全は長の健康あれ村上思報(A)を引致、二年間に 事は十五日府内墨所から副島縣在

高原と戦突があるとていろ!くと「自出して朝鮮職会地方本部を京場、する語である、この完成と残に(『朝朝編本部ではさらにその事業のる名側を振郷し敬養自選頭本所の「てある常麗飛行蟷螂が、朝鮮に来、奥の形式で来月中切にはお目見得「も使服することになる、なほ師の賦つて高知な産が興奮し民の修造ある。その発程成に「「根軸をかけ」「聖練を東京選集所に得文して賃」「京「城神中里、の「定財飛行」れ行上思統(さ)を引致、二年間に「または選族の財職等を行び」「干頭の選作費で四人郷蔵室駅KR(使服しれ行上思統(さ)を引致、二年間に「または選族の財職等を行び」「干頭の選作費で四人郷蔵室駅KR(使服し

他には飛移戦の死傷に對する手篙

を認め表彰する意味で、機二萬三

「下認可申請中の陰航空事業的唯に

だほら一つで

半島球戦を封切る金鯱

島 動

植物

 $(\!\!\!/)$

寶庫

光陵へ新ハ

イキング・ル

年後二・一八、同四・三八、同二、外部の描を一歩も五寄らしめ「物震い震災の一敗で百尾原題門の一年後二・一八、同四・三八、同二、アル確の鑑式を訓練して番光に使「局をカムララーフする名群で安は翻遊乳石道説

術を調べてみると意外にも後等は、打酷にして調べると、乞食とは富

新書度が凝知、十四日 仮秘かに事 に親分以下

十部名の公気がを一綱 すると同時

(腐蹊は森林地帯をハイクる京

个後の都市の

片外に出て撮影する梯になつたが「春秋二即の襲撃期に駆聴説見所を「つてゐる、これを九年度に比して「1十二第非時訛版を段兼弘經(こ)異義々下の騒響内には数目前から「名の乞女罪が顕揚してゐる事を頼

世話後の如きも無似で飲み的にや ダイヤ紛失

京城部路五 怪奇

人口六十五萬を擁する大京城仮の

- 京城南大門通り一丁目 グ

親分女食を 中心に十数 と物が除を物成して一人の

ないのでピックリ、直ちに衛生旅

て支那側は上海、長崎間より高新

沓犬まで置いて悪事

幾多の美談

年としたが、この巡戦のため、保殿の役を、務め、毎年総統申継続は落ためつて安、乗り出して正となり姉となり既は後多の美談、を生んでゐ、殿は援興館・面・夢通戦技・れた

萬八干に強しその經費二萬一千圓

加してゐる、この收容日數を見る

見ると八百七十七ヶ町の欲均振り 收容人員も、一面から頃

怪奇の

層發風

はこれ等諸勝禮に於て資擔しその

初めてサービスする誘道局のハイ と原城中心の四コース圏と案内 を脱稿今月末印刷を完了して各 イキング・ソーズンを窓へ

へであるが、光酸は森林と影流の 新に紹介されるものは光曜コー 情語的な風景でハイカー を終ば しさと自なのお花場に包まれた **岩自慢の新コースである**

線道事務所に配布する語である 京城附近 ナコースのうち

たうひ、もみの膨木に脳はれた地外では痛れに見る総材幣である、 信折すると松原里、直回の内部路

を組て光陵の本所林栗は帰場に達

機類医が解析として搭茂し京城近 堪にからり、松類、斑、屠等の針 する、この附近一帯は同説院典言

◎ 指間水虫・股間いんきん

(9) 顏·手 足 の ア L

國債線上償還公告 國庫債券

店、熊本支店鹿兒島派出所、代理店、郵便局ニテ御受領一年五月一日操上價邊相成候三付價還元利金、同日ヨリ一三年二月 一日期限(第三十四回)一一年 三一月一日期限(第二十二回)十二年十二月一日期限(第二十二回)第三十四)十二年 十二月一日期限(第二十七回)

回回回回 ケケケケ ||日ヨリ五月一日||台ニテ左記ノ通リニ有之五月二日以後へ利子ヲ陥セザルニ 四 一 八四二 六五 錢錢 錢 一折了 断丘 回回回 券券券 八三国三二錢四八四三三錢

日ヨリ同世八日迄ヲ限リ本行本支店ニ於テ優先賣國庫債券ニ乘換買受希望ノ向ニ對シテハ四月十七右國債所有者ニシテ同日借換ノ爲發行ノ三分半利

さまいこり

蓮鏡尼京城へ

今回海鮮行脚の底に上つて今日京一般館事業にまで乗り出してゐるが 家にぶし、今では蓮鏡形と新して「投島祠」二四周県町三銖の生活にひたりつ、他面様、早、顕裕五丁目二党山麓にささやかな巌を貼んで念」 コラット・ 一四周景煥さんの袖の下一目第一脚帯で観客京城

他では大陸国江戦略の六人殺とし

高野山でお話

乞食團と見せかけ

東京と天津

が観励となってあるらしいので、

起訴と決定 近く公判を要求

忠隈炭坑惨事の後報 と判

避りとよけ遺素族なほそれぞれ動起より肝臓に致めてゐるが、筋肉に迎つてゐる数電時の人が特にハ十二名で中無愛な妙能化を発げたもの五十名、龍勝市二十人数電時の人が特定の十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 震撃を他めた数出作業を完了した肯住反反抗を赴に入職があつた、即ちへ20番を立起した住友出限鑑業所では所収を認動殺して運搬が数出に死

いったいである。 見るのである。 生婦アメンロー は一足先きに目のあたり は一足先きに目のあたり

して、この研代表の、類を 戦楽圏のリーグを目前に 戦学圏のリーグを目前に 東にしかも内地における 東にしかも内地における

大の北州投手や西村中堅手上高(共に平安市県)郡らの中華在長期には北野の大りを既へられた職が入りを既へられた職が入りを成へられた職が、大の北州市は、東に平安市県)郡(中の東京第十年)の最初選手を

である

いて如何なる難法で相見えるか、 この両チームが

らも馳せ替し、その節節れはわが国球

思ふ存分技の新野麻と明明さを吸び込 ませる、まさに半島郷界の春の間高き

山田選手は政後湯

虚波邊外野手、

中等校の優秀選手を物色玉尺七寸以上といる機能の観覧方法で

ししめてその實力は素晴巧者を集めて阿容を整備

昔の妻吉……

▼人金摺輪を顕著三丁目に駆ける「宏書さん、共後高野山の高側に数、上は高野山西部部院に身を浴せては十五日午後九時半晩荘文品学(「七腊の耳目を霧動せしめた薔薇」城も訪れることになった、来坂の 中級失したとて養殖へ間け出た。 はれ 自ら徴 海の生 語に入り、潮 講演等もなす 医定であると

振り、時た主後等の魔子にかかる。た

五月一日より始める

折儺を置けてゐるが、桃金につい 日下須暦南京總領事が國立政府と

た、なほ和文電報取扱をなすべく 五月一日より正式 朗 通に決定し 塑直道 無線電話は九日 からの連 · 天律十五日電池] 天津東京間自

衝突ウイップル號は艦體前部を破

日テストの結果医療良好なので、



整照組成とも死傷器はない、重細 して海水が機綱家に浸入した、南

外罗 特**科**克 服**花**

たのも衝突前後事情につ

和文電報取扱開始の選びになるよ を主張してをり、これがため行協

んである、個くも六月初め頃に

取割べる豫定である 西大門管內

通ずる電車線路以北の各町は二十 脚して開知症に形めてゐる 四大門町、丁片から藤浦町万面に に、その総路以南は一

日本小兒

科學會 潜權威

宮脇農學博士

御指導 御推獎 在である本能 出の強かな存

讃者を優待 少女歌劇に

間の臨文堂と能文堂では之を後接 日より五日間原境総場に春の新プ おなじみの果豆少女歌劇別は十 て上海、本紙市内販の

刀車の一斉極査を行ふ、極重爆け年期十一時の両日に亘つて皆内人に来る二十二日午前十時二十三日 早大勝つ

飛行協會から贈る輕快機

NR一型製作進む

始結局四A對一で早 對帝第一戰

----それもその第三月八日「無 『頭に似す中々若ら

分娩しの知らせ「やつばり候 日これまた「無事女皇

た』とは認敢一間のコソコソ語を充がだねこれで意を握うし ゴラもの 脱縮さん。 選まご由

けふの天氣

職職を等々で要面は華やかな生活であたという任命な事質も期間し 英田、安全地帯で職場の恩様で全 婦女子がる るといちめ

ン壁は船服法選及として起訴され来たドビナ蟹は不起訴、フーチャ

京城本町五丁目 京城本町五丁目 満元 園 茶舗 電本100七

小店 显然某事中心规模是 內保職人名罗·西腊普拉塞 京城市 大型 西腊普拉斯 市城市 大型 西腊普拉斯 市城市 大型 西腊普拉斯 市城市 大型 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西腊普拉斯 西斯市 林文斯 医原人 大鷹 图 利 图 阙 祀 由

民族は飛ど賦定的と見られてゐる 要求するとになったが、船間の 昭重要性を帯びてゐるので公前 米國の軍艦 **庾習中衝突**

細亜艦隊 所聞職 透 艦ウイツブル 七時三十分ルソン語西北突唱神合 「マニラ十五日同盟] アメリカ亜 **適割中原艦スミストムソン號と** 九〇噸) は十四日午後 就得受情がある。 脱牛派台セラ

和文取扱は六月初頃

ハギレ版

津村館 電影子目 塩井醫院 電子目 塩井醫院 支局長型集職質なる整済排誌

崎ヶ**オル**シ 病科**大** 病科 で で で なり 告に限り特に登固にて掲載す世に取り特に登固にて掲載され、回五十銭匿名は一回印に五十銭匿名は一回印に五十 ※ 京日案内

東 人 下宮無人に付き 方に家族的お世話政度本人米談を 方に家族的お世話政度本人米談を

特别拿贝

に列心便で来るぎで軍では大概び

料の「干銭割り倒得数を居而した

の第一條に建物を建築せんとする

れによれば十九ヶ様から成り、

近く質脆されることとなった、こ であったが、愈よこのほどだり **期準期は同争の公布と共に半點のされたが、これに伴ふ向令施行棚**

職の百選的等は三米、標や五百名 日以内に爾出立者上域出立なけれる物が10名名表演交は地職を回む四 生物、無際場、公司第三十の「無際場」、公司第三十の一十二十百名。未議論・本紀記する。 なは面側地部根隔線の後定着くは「二十百名・未議」・本紀記する。 なは面側地部根隔線の後定着くは「二十百名・未議」・本紀記する。

原行泉川は昨北西舎を以つて小市

3指針ともなる朝鮮市町地部書令 離その他の客席は

おの主要者都市は近時後々解散

一つて一定顕輝を後退せよとある、「名本編の公爵やその他は四本それ

可言準則近く公有

、二例を示すと問題、映画 以上は

五米と限定 されてめる

特殊事間を加味し内地各都市の

條例を参酌

して立案中一本前の問場活動財成解、七百五十

ばその建築は許可を貼へられない

昭昭昭昭五 和和和和和分 十十十十十分

]年

京

つて行った。地理のくはしくない 「だつて、臓々すみませんわねと」 は機械的に難いてゐた。何處へ行。私、つれて行ってあげますよつ。て

あんたはん、ついて来なはれら

てなんだか関しかつた。習美の是「文楽座やつたら、四り盛やがな。

た。橋を渡つて、南堀江の方を歩

◆持時間各九時間 ◆消費時間▼五時間一十六分

帝を廻つてみたが、 それらしい男

た。さつき降な男だと思ったのは

間違ひだつた。正面から見るとそ 光線の工合かなんかで、智美の見

賀美には、今自分がどこを歩いて

去って以来、概も聴もなくなって「の寒肌ない

かった。それに、餓火のもとを一種まれぬ、御主の御恩、魏の惠み

Rた。併し、態ら版や礎がなくな

『ちょつと、先生……自那はん…

ちゃならなかった。保護人を得

失がはたとやんだ。

領美が後から豊をかけた。義太

雄

が水に映つて、動的な光の二重奏 ン・開催する間西等、過上を注及 は振空つた。繒麗に舞妓が三人、

TOOK

五、 告唱(イ) 石窟庵 田中初五、 告唱(イ) 石窟庵 田中初 がお野稚作曲 (明年詞、田村祝 げる作詞、小赵野離作曲

(M) 万京作曲(P) 港(M) 石原原 田中初

三、齊唱(イ)子守うた(ロ)私三、齊唱(イ)子守うた(ロ)私のピアノ(小學新唱歌)のピアノ(小學新唱歌)解 玉 榮のピアノ(小學新唱歌)

尹褟銀作詞、洪唰坡作曲(朝鮮

時 ニュース・天氣見込、鷺

旅の機で三十回、あとの十回は 其の光と人の渦の中を、双美は う心療機筋の、小さた商人宿で

間、智美はなにをすることもなく 祖えてゐた。大阪に來てから五日

言いらと過してゐた。新聞の表 | 撰で、小さく義太夫を口吟んでゐ 後から、擦子を見つい疑いて行つ

しないと、あの道ちや膨度してる の貨地に似た、脈啄の無い小降な く、舌のたるとに膨れて行つたっ 智美は立つたまして、遊つと其 十六日番組 (木曜日)-

同六時三五分(大) 誹滅

同一の時二〇分(東)系域器監「同九時一五分気象流散、料理紙立「同九時一五分気象流散、料理紙立 同七時四〇分(東)ラギオ物漫同七時四〇分(東)ラギオ物漫文學博士、路橋、敬文 の生涯(四)

後六時一

京城より全國中職

(イ)春

洪陽游作曲(明鮮品)

年後家時五分 名)管絃架 ・ アメリカ幻想曲 トバニー ユウチュウ ・ アメリカ幻想曲 トバニー ユウチュウ ・ アメリカ幻想曲 トバニー ユウチュウ ・ アメリカ幻想曲 トバニー ユウチュウ | 氷解けて遊ひらき、小川はチョロ を去り要來れば、小用はサラノ~ (イ)春館別篇作詞(頻繁語) チョロ。草木も熊えて、小島はチ

一流 争 男 血 製 論 3 **全段 齋 藤 銀 中 秀**

1351、1531兄線がふけば て里へいた

金く巨むに止まれぬものがあらう あやめの他の水すまし、1234 第6 大に三に規模すれば前の単が、報節・七二に提るが、156 7 間いるる、 間いても間い 正式に三に規程が立ていた。 1 一、4 風が吹き、 スから次と消して 大路 (一大) 世 (一大) 激戦の前奏曲

たりに けり、草も 生え、木も芽

乃木將軍

東京劇事より

市川左關次一萬

「十一局」 闘は、大同玉色の局面

マ島祖氏・金形田

攻撃に使用する工夫を廃してゐた に臨んでの備へだけに三十分近に臨んでの備へだけに三十分近

步

總評

(ハ)四匹のお馬

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10 八贯 金 易二郎 春の豫防衛生

ければならないとが多いので暑の 居ります。そこでその年の後防衛 次子保典氏だけでも無事にあら 見ると五月より急激に増加を見て 朝鮮全道より見ても又鮮内各府に

戸閣鎌より中畿——乃木大將 同七時五五分(東)舞合関——東 伯爵 二荒 芳德 万木大將
市川左蘭次
東京軍琴港自共中在
東京軍琴港自共中在
同田市中在
市川 左升
同田市中在
市川 左升
同田市大時
市川 左次
同田大寺
市川 左次 間 山岡中佐 同津斯田少佐 同津斯田少佐 同津斯田少佐 同津斯田少佐

雨唱 多期子 **、小島が鳴いて居て、きれいなお。お馬が通る白馬祭馬、白馬黒馬、**

(ロ お日様キラ人 澗をなめる、つほみはよろこんで ふるへても、つぼみはよろこんで 資明、小雨、花の雨、濡れて能は (ロ)私のピアノ 私のピアノは、よくなるピアノ

洪海地作曲一項無部

おち繰の大雄なセウル(京城)み (イ 子等う 二(小型新州歌) らららららら (以下期間と聞じ) おつかさんや姉だんを囚んで派て 他で餅をつくり、硫をお膳にして おいしさらに、ムニヤノ お日様キラノへ演漫トキラノ

(イ)水すまし 法 原设作曲 (朝鲜岩)

跡やのねえねにどこへいた。こん一

る船の紙、積荷の歌の磐高く 朝の海、出でゆく船に日の丸の、

後七、五五

の野に、長き日鮮の移るまで 薬摘み紫生英保り、遊ぶも楽し番 何時かを行ちし花咲きて、日本暖 関治二十七年十一月下旬の歌る朝 かになりにけり、友縁で蚤さげて 場面は金州半島薫艇製薬地管の北 も見えの容明を、難く脚に知るは 盟攻撃も至しく戦らに厳密のみ紀から既に中蒙、敗弾文雨弾のわが 東部にはる一巻村の第二軍司令形 柳樹房營舍

頑屈なのだらうと思り合つてある く、些霊は仮然として陥落したい 状が何迪となく来る。勝軍は戦線 趣祭に出かけてゐるが、參觀進は 内地の人々からは乃木將軍の復禄

後一時

坊やはねえねがだいすきだ、お由しをひいて、四匹で通るだまつて通 端から厳順が望み見られたといと の向ぶの由こえた、ねえねのお里る、馬子も四人だまつて通る で認っ、馬子も四人とこまでかへ 何つんでかへる、雨降る日幣、灯 Ŧį, のついた則を、四四で配る何寿ま お馬はかへる臼馬黒馬、白馬黒馬 つづいて逝る、 石 おんなおやらな単一軍少佐が、二〇三番地の転嫁の失 保典職死の報に残した将車は、さ

れるお標準標、松の僧に吹く破も一声喧嚣にまもられて、御礼礼か 避黙、その若々と柔かく、姿やさ 側の光を銅鏡に、静かに当すお霧一周にも絶えず我が軍の完全なる御 花めぐり(東日)

醍醐の櫻

出東された資本語自じ、下東に先年が展に『崖間の花』を描き

十七日きへ物 を望む塹壕

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選 恭無斷上演映戲

(第)出すとも彼の高地を一届も早く 大日本帝國のため如何なる犠牲をに蔵点として配置を見み立ちつし

第三場 第三軍司令部 しいれねばならぬと決心するので

田一ろ山一りの電報を受け、最後の強攻撃を逃見真一! 原水 居る底はの城」といる山縣将軍と 帝思も述べられない、将軍は「百軍が來台せるが少尉は中佐の手即

に色めき凄る。しかしその天に、大岩巌をもたらし、巻倉は一 へられたのは乃木保典少尉の職が

へて るるのであった 順の 書に 市町に多大なる鑑書を則 中族も男童きに泣く。しかし此のかに擽へる。戦をもたらした白悲

n 奉仕の 庭 12 15 食品品 歷 全て 場に、に、 です。